



十二中だより

令和7年4月10日
足立区立第十二中学校
校長 千葉 千登勢
HP <http://www.adachi.ed.jp/adac12-j>

令和7年度が始まりました

校長 千葉 千登勢

令和7年度もどうぞよろしくお願いいたします。7日の始業式では、新学期を迎え、新2・3年生はクラスも替わり、引き締まった気持ちで式に臨むことができました。また、8日の第79回入学式は、88名の新入生を迎え、多くの来賓、保護者が見守る中、盛大に挙行することができました。今年度より在校生も参列し、生徒会長3年大塚虎太郎さんの新入生歓迎の言葉や在校生の校歌紹介など上級生として立派な態度で新入生を迎えることができました。令和7年度は全校生徒283名のスタートです。一人一人が夢と希望をもち、笑顔溢れる明るい学校をつくっていきます。

始業式では、次のようなことを話しました。一つは、「心を豊かにしてくれる言葉を発していこう」です。毎朝の挨拶について、先日足立東高校の副校長先生から「十二中の女子生徒さんが足立東高校の校門の前を通る時、とても丁寧に挨拶をしてくれて嬉しいです」とお褒めの言葉をいただきました。学校だけでなく地域でも挨拶できる姿は素敵です。また、「ありがとう」は自分も相手も幸せにしてくれる言葉、「ごめんなさい」は心をきれいにし、新しい自分を生み出してくれる言葉、「おかげさまで」は謙虚になり、絆を深めてくれる言葉です。この3つの言葉は心を豊かにしてくれます。この言葉が自然と出てくる学校にしていきたいと思います。

もう一つは、令和7年度の十二中のスローガンは「みんなで学び合い、高め合っていく十二中学生!」とした話です。授業や生徒会、委員会・係活動や部活動など、あらゆる場面で一人一人が考え、みんなで学び合い、高め合っていくことでよりよい学校をつくってほしいという思いがあります。早速、9日(水)の新入生歓迎オリエンテーション部活動説明会では、2,3年生が生徒会や各委員会、各部活動の創意工夫を凝らした素晴らしい発表を披露してくれました。笑いあり、感動あり、驚きありの2時間はとても充実していました。「自分たちの力で考え、話し合い、発表する」姿はまさにスローガンどおりです。ポジティブにチャレンジし、高め合っていくこれからの十二中学生の成長がとても楽しみです。

さて、今年度はICTモデル校として教員も授業改善を目標に研修を深めて参ります。ICTを効果的に活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指し、「分かる授業・魅力ある授業」を実践していきます。教員側も主体的に学ぶ姿勢が大切であると考えています。また、SSR(スクール・サポート・ルーム)の開設、新規部活(男子テニス部、体力づくり部)の開設など新しい取組も行っていきます。時代を先行しながら、アップデートしていく十二中でありたいと考えます。なお、防災教育については引き続き区教育委員会と連携して行っていきます。また、十二中に設置されている「あだち日本語学習ルーム分室」は日本語が不自由な生徒に対して日本語支援が行われています。こちらは、日本語学習ルームに別途申し込んでいただくことになります。日本語の理解に困難さを抱えられているご家庭は、是非ご活用ください。

4月は環境が変わり、心身共にバランスを崩しやすい時期です。お子さんの様子をいつも以上に見守っていただければ幸いです。なお、困ったことや悩んでいることがございましたら、遠慮なく担任や学年教員、養護教諭、スクールカウンセラーにご相談ください。今後とも保護者や地域の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第七十九回入学式
集合写真



新入生歓迎オリエンテーション
生徒会・委員会紹介



新入生歓迎オリエンテーション
生徒会の演技

